

東北地方 1か月予報

(3月27日から4月26日までの天候見通し)

平成16年3月26日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化するでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 3月27日(土) ~ 4月26日(月)

1週目 : 3月27日(土) ~ 4月2日(金)

2週目 : 4月3日(土) ~ 4月9日(金)

3~4週目 : 4月10日(土) ~ 4月23日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月2日

3か月予報：4月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	8.1	137.1	178.1	5.7	7.2	9.1
新庄	7.0	106.3	149.7	4.0	5.8	8.4
若松	8.7	67.7	172.7	5.6	7.5	10.1
深浦	7.4	97.2	173.6	5.0	6.6	8.5
青森	7.0	65.3	186.9	4.4	6.1	8.2
むつ	6.3	82.7	193.4	3.8	5.4	7.3
八戸	7.3	59.1	195.8	4.8	6.5	8.4
秋田	8.3	119.6	176.3	5.7	7.4	9.4
盛岡	7.3	96.8	176.8	4.4	6.3	8.6
宮古	7.8	98.1	193.8	5.3	7.0	8.8
酒田	8.9	109.4	171.8	6.4	8.0	10.0
山形	8.7	69.6	177.8	5.6	7.5	10.0
仙台	9.2	97.5	192.6	6.7	8.3	10.3
石巻	8.3	91.6	195.8	5.9	7.5	9.4
福島	10.2	84.0	190.6	7.3	9.1	11.5
白河	8.8	102.7	186.6	6.0	7.7	10.0
小名浜	10.3	131.4	187.7	8.1	9.5	11.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.4	84~114	95~104
東北日本海側	-0.5~+0.4	87~109	95~105
東北太平洋側	-0.3~+0.4	79~116	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.5~+0.7	-0.4~+0.3
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.8	-0.5~+0.4
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.5~+0.8	-0.4~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を受けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年3月26日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月27日~4月26日) :

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。寒暖の変動が大きい見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(3月27日~4月2日) :

期間の初めと終わりは高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、期間の中頃には気圧の谷の通過により雨の降る日があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(4月3日~4月9日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(4月10日~4月23日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

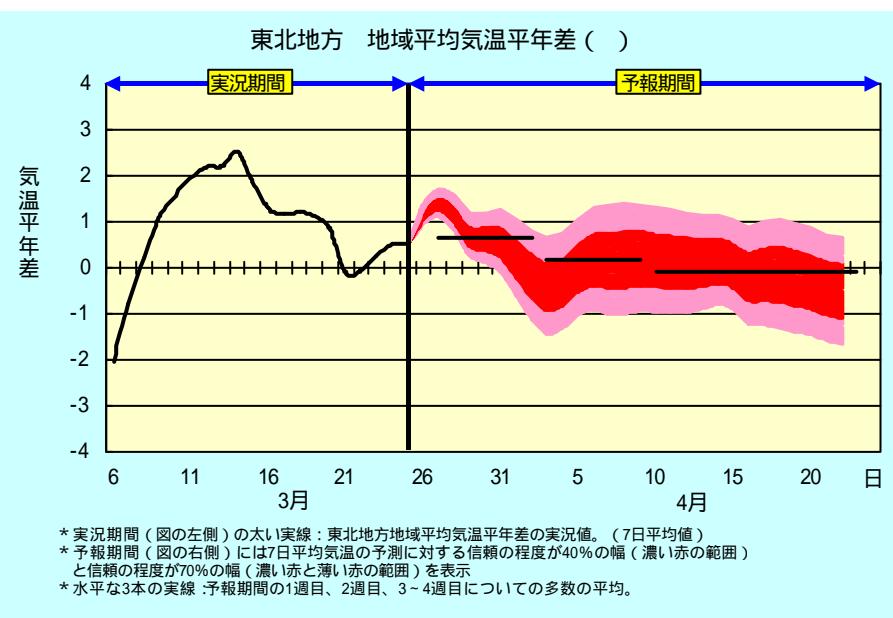
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.1日	3.5日	3.9日	7.7日
東北太平洋側	16.9日	4.2日	4.4日	8.3日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共「平年並」と予測している。予報は、週間資料から1週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

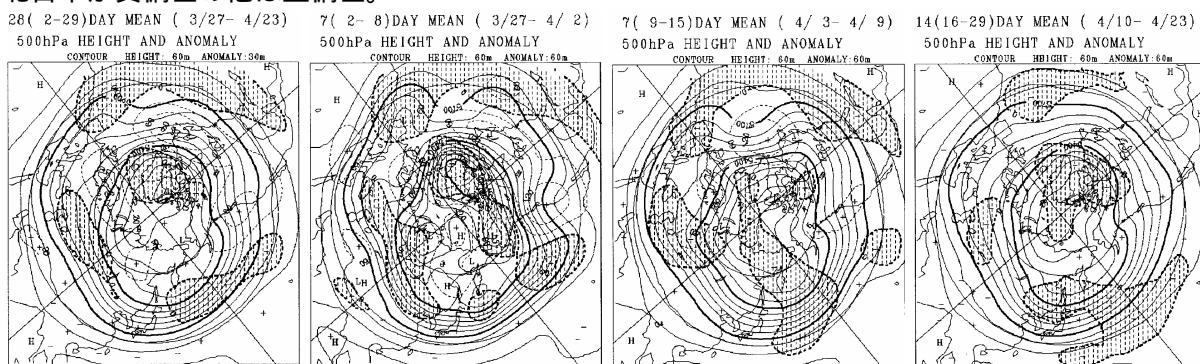


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は正偏差で寒気放出場。日本の東海上は負偏差で弱い東谷傾向。偏西風の流れは順調。

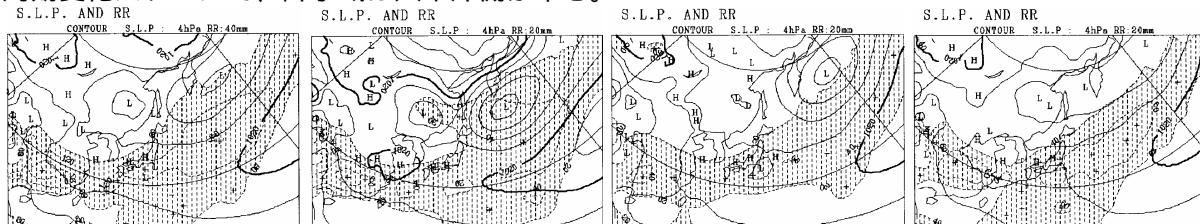
週別に見ると、1週目はカムチャツカ半島の南と中国大陆の中緯度に負偏差域が見られるが、日本付近は正偏差。2週目は、日本付近は西が正偏差で東海上が負偏差の東谷傾向。3~4週目は、北日本が負偏差の他は正偏差。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は周期変化パターン。降水域は太平洋側を中心につかれる。

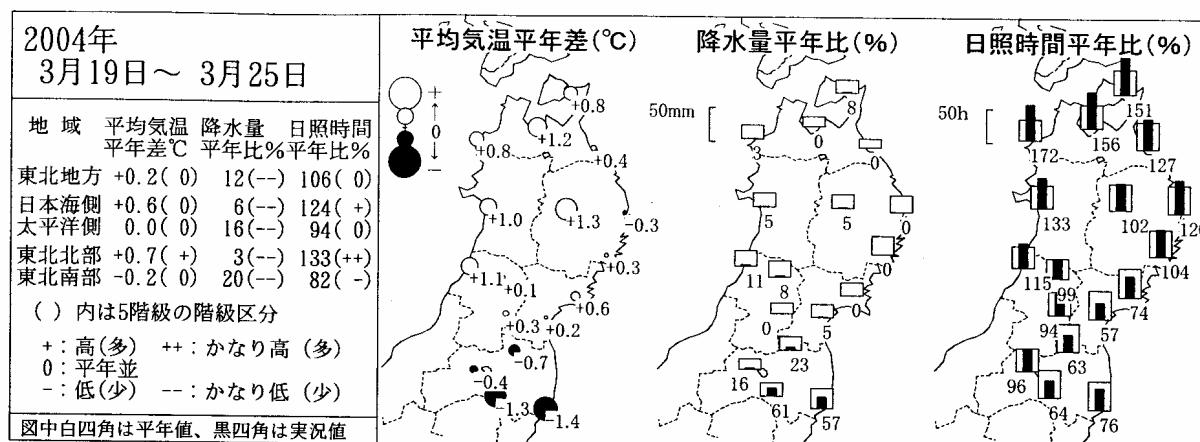
週別に見ると、1週目は低気圧がカムチャツカ半島の南に予想され、北海道と関東以西に弱い降水域がかかる。2週目は周期変化パターンだが、大陸からの高気圧に緩く覆われる。3~4週目周期変化パターンで、降水域は太平洋側が中心。



4. 最近1週間（3月19日～3月25日）の天候の経過

この期間、前半は高気圧に覆われ概ね晴れた。半ば以降は南岸低気圧の影響で東北南部を中心に曇りや雨又は雪となつたが、大きな崩れはなかつた。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量はかなり少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)